

3月5日（土）甲佐中学校を巣立った79人の卒業生は、これからそれぞれの道を進みます。

この春、新しい歩みを始めたキミたちへー。仲間との別れがあるのは、新しい出会いを手にするため。何かを掴むためには、何かを手放さないといけないから。でも、ふるさとでの9年間の絆が無くなるわけじゃない。キミたちは一人じゃない。

この空はつながっています。キミたちがこれから歩いていく道も、きつとどこかで交差しているはず。このまちの名が示しているように。

また会おう。この場所で。そして手と手をつなぎ、その手をかざそうー。



【フォトレポート】令和3年度 甲佐中学校卒業証書授与式

ふるさととの仲間と過ごす
義務教育最後のハレの日に



1_せせらぎ学級の生徒たちがこの日のために育てたサクラソウなどの花々が会場を彩る 2・3_在校生や来賓の参加を抑えた式典は3年目。卒業生たちは中学校生活で初めての卒業式への参加となった。 4_青空から春の日差しが降り注ぐ 5・6_永瀬校長から卒業証書を受け取る卒業生たち 7_甲佐中学校での3年を振り返りながら感謝と仲間たちへの想いを伝える生徒会長の菊地こころさん 8・9_合唱曲「あなたへー旅立ちに寄せるメッセージー」を歌いあげる卒業生たち 10_胸を張って会場を後にする卒業生 11_最後のクラスルームで先生や仲間との時間を噛みしめる生徒たち 12_卒業生が無事に巣立ち、静寂に包まれた校舎



■旅立ちの日

3月5日(土) 甲佐中学校で令和3年度卒業証書授与式が行われ、卒業生79人が恩師や仲間との別れを惜しみました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、在校生や来賓の参加を見送るなど規模が縮小された卒業式は3年目となりました。保護者や恩師らが見守る中、壇上上がった卒業生一人一人に永瀬善久校長から卒業証書が手渡されました。卒業生に向けて永瀬校長は「皆さんは、これからそれぞれの進路を歩いていきます。あなたを支える多くの人たちが、あなたの未来を期待しています。しかし自分の未来に一番期待しているのはあなた自身であってください」と呼び掛けました。

蔵田教育長は「ご家族や先生、地域の方々への感謝と共に、助け合ってきた多くの友がいたことを決して忘れずにいてください」とエール。

卒業生を代表して菊地こころさん(下横田区)が「甲佐中学校で学んだことや共に過ごしたことを胸に、一歩ずつ前へ進んで行きます」と決意を述べました。